

ワークショップ
装いと規範 第4回

日時：2021年2月6日(月)13:00-17:00

Zoomによるオンライン開催

プログラム

13:00-13:10 趣旨説明

帯谷 知可(京都大学東南アジア地域研究研究所)／後藤 絵美(東京大学東洋文化研究所)

13:10-16:10 報告

報告1

古着から展示可能な民族衣装へ——中国少数民族の装いにおけるグローバルな広がりと価値の変遷

佐藤 若菜(新潟国際情報大学)

報告2

ナミビア・ヘレロ人のエスニックドレスに見る歴史性とファッション——4つのショーから

香室 結美(熊本大学)

報告3

唯物論の神はイスラームグッズに祝福を与え給う——世界の工場 中国の経験を垣間見る

松本 ますみ(室蘭工業大学)

16:10-17:00 コメントとディスカッション

コメントータ 安城 寿子(阪南大学)／杉浦 未樹(法政大学)／杉本 星子(京都文教大学)

主 催：*新学術領域研究「グローバル関係学」(グローバル秩序の溶解と新しい危機を越えて——関係性中心の融合型人文社会科学の確立)研究計画B01「規範とアイデンティティ——社会的紐帯とナショナリズムの間」(研究代表者：酒井啓子)

共 催：*京都大学東南アジア地域研究研究所CIRAS共同利用・共同研究「中央ユーラシアおよび中東ムスリムの家族・ジェンダーをめぐる規範——言説とネットワークの超域的展開」(2020年度、研究代表者：磯貝真澄)